

## 祝　　辞

入所式に当たり、お祝いの言葉を申し上げます。

裁判所職員総合研修所第18期研修生の皆さん、本日は誠におめでとうございます。裁判所書記官あるいは家庭裁判所調査官を目指し、高い志を持って努力を重ね、本日晴れて入所式を迎えたことに対し、心からお喜びを申し上げます。

昨今、生命科学・情報通信技術をはじめとする科学技術が驚くべき発展を遂げ、社会経済活動の国際化、少子高齢化といった社会の構造的な変化も加速しています。これらに起因して、国民の価値観や家族観の多様化も進むなど、私たちを取り巻く社会環境は急速に大きく変化しています。加えて、昨年から続く新型コロナウイルス感染症の世界的な流行によって、人々の行動や生活様式は変容を余儀なくされ、国民生活は大きな影響を受けている状況にあります。

このような社会に揺らぎのある時代にあって、裁判所

は、法と証拠に基づき、中立公正な立場から適正迅速に法的紛争を解決するという機能を果たし、これを通じて、社会秩序の安定に寄与することが一層求められていると思います。裁判所の役割に対するこのような国民の期待に応えるためには、職員一人一人が、真摯に職務に取り組み、与えられた職責を着実に果たしていくことはもとより、社会の動きや利用者のニーズの変化に关心を払い、常に改善と工夫を重ねていくという意識を持って、より質の高い裁判事務の遂行を目指していくことが強く求められているといえるでしょう。

皆さんは、裁判所書記官あるいは家庭裁判所調査官という仕事の道を選択されました。裁判所書記官は、裁判のプロセスで発生する多種多様な法的な事務を適正かつ効率的に遂行する役割を果たす専門職です。また、家庭裁判所調査官は、家庭裁判所の事件において、行動科学の知見や技法を活用した調査を行うことで、より納得性の高い調停や審判の実現に寄与する役割を果たす専門職

です。皆さんには、それぞれの官職が裁判で担う役割と責任の重さを常に胸に刻んで、誇りと自覚を持って、積極的に研修に取り組んでいただきたいと思います。

これからのお仕事においては、このような専門職に求められる基本的な知識と技法を中心に、多くのことを学ばれることだと思います。これらの知識等はこれからの専門職としての職務の土台であり、まずはしっかりと習得していただきたい。さらに、それにとどまらず、それらの知識や技法が、裁判のプロセスのどのような場面で、どのような形で活用され、適正妥当な裁判の実現のためにどのように役立てられるのかということを考える習慣を、是非身に付けてください。

ご承知のとおり、社会のIT化の動きが加速し、裁判所においても裁判手続のIT化に向けた取組が、分野を問わず進んでいます。特に、先行している民事訴訟手続のIT化については、法改正の議論も進み、何十年に一度ともいえる手続や仕事のやり方が大きく変わる時期に

入ってきています。皆さんはそのような時期に専門職として活躍することが期待されているのです。そして、このような時期であるからこそ、「自ら考える姿勢」、「議論する姿勢」を持つことが重要になるのです。

裁判所においては、裁判官を含め、異なる職種の裁判所職員が連携し、チームとして職務に取り組んでいます。この研修所において、裁判所書記官と家庭裁判所調査官の養成を行っていることは、職種間の相互理解と連携の基盤を築く上で、大きな意義があります。互いに切磋琢磨を重ねながら、高い職業倫理を共有する裁判所職員として、信頼し、尊敬し合える関係を築いてください。

最後になりましたが、どのような時にも健康が第一です。皆さんが、心身とも健康で充実した研修生活を送り、晴れて養成課程を修了されて、裁判所書記官あるいは家庭裁判所調査官として、これから裁判所に新しい風をもたらしてくださることを心より期待して、私の祝辞といたします。本当におめでとうございます。

令和三年五月十日

最高裁判所判事 小 池 裕